

ハメルンの笛吹き (1971)

THE PIED PIPER

メディア 映画

ジャンル ファンタジー

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 90分

初公開日 1972/07/15

公開情報 ヘラルド

【キャッチコピー】

そこには 何かあるのだろうー 澄んだ笛の音に誘われて 子供たちは旅だった！
〈小さな恋のメロディ〉の 日本ヘラルド映画が贈る 愛と夢のメルヘン！

【解説】

中世ドイツの民話を、英のフォークシンガー＝ドノヴァンを主演にして、当時は童話づいていた仏の J・ドゥミが監督。賑やかな旅芸人一座と、笛吹きの若者が合流してハメルンの町を目指す。ペストの流入を恐れられ足止めを喰らう。しかし、若者の笛の音に、村長の娘の病気が全快。彼らは出入りを許される。少女は領主の息子（J・ハート）との結婚が決まっていたが、本当はときどき忍んでくる画家志望の青年を愛していた。そして、望まぬ結婚の祝宴に臨んだ少女と若領主が、ケーキにナイフを入れると、中から一匹のネズミが。たちまち町は、疫病をもたらす害獣に占拠される。退治法を考えあぐねた町長らは、報酬と引き換えにネズミを始末する、という笛吹きの提案を受け入れる。若者の笛の音に、何万ものネズミが溢れて一斉に彼の後について行き、最後には河に次々と消える。狂喜する町の執行部。だが、若者が金を要求すると、手のひらを返したように、そんな話は知らぬの一点張り。翌朝、再び笛の音が。しかし、今度街路に集まり出たのは、町中の子供たちだった……。ドノヴァンの歌が優れ、ドミの牧歌的な絵作りも美しい、メルヘンの佳作である。

【クレジット】

監督	ジャック・ドゥミ	Jacques Demy
脚本	アンドリュー・バーキン	Andrew Birkin
	ジャック・ドゥミ	Jacques Demy
	マーク・ペプロ	Mark Peploe
撮影	ピーター・サシツキー	Peter Suschitzky
音楽	ドノヴァン	Donovan
出演	ドノヴァン	Donovan
	ジャック・ワイルド	Jack Wild
	マイケル・ホーダーン	Michael Hordern
	ダイアナ・ドース	Diana Dors
	ジョン・ハート	John Hurt
	キャスリン・ハリソン	Cathryn Harrison
	ドナルド・プレザンス	Donald Pleasence